

5月 モニターレポート		担当出張所	福島出張所
担当区間	淀川下流左岸		
モニター実施日時	令和2年5月15日（金）9時半頃～11時半頃		
天 候	曇り		

## (見出し)

新型コロナウイルスの緊急事態宣言の一部地域解除や、大阪モデル達成による自粛の部分解除が出され、少し気持ちが楽になった様に感じられた日。淀川堤防はいかかな様子かと思いモニターに出かけました。

## (内 容)

河口を目指しURリバーサイドヒル横より淀川堤防に入る。金曜日ではありましたが、散歩しておられる方、ジョギングしておられる方、子供を遊ばせている方達等が目に入りました。

まずは河口まで行きそこから遡ることにしました。

河口からは薄っすらと淡路島の姿が見えていました。

すぐ横の道路より堤防への進入ゲートが草に覆われはじめ、付近には投棄されたゴミも目に入りました。

草の生えるのも早い新たなゴミが投棄されるのも早い。



常吉グラウンドには今日も人影は無し。道路にはトラックが駐車列を作っていた。横の法面下は何時もの様に飲食物や投棄されたゴミが散乱状態。この様なゴミの散乱状態はこの先の信号機の辺りまで続いているが、今日はその信号機から阪神高速の下まで約100m強の区間が綺麗になっていた。誰かが掃除をしたのかな？



淀川の川面にはスタンドアップパドルボードを楽しむ人の姿が見えた。気持ちよさそうでした。

堤防の継ぎ目にハマヒルガオが額縁の様に生え茂っていて多くのピンク色の花をつけていた。自然の芸術綺麗でした。



淀川に面した北側堤防法面にはシロツメクサ、チガヤ、ムラサキツメクサ等が他の草花と共に色を成しているが、道路や住宅・会社等のある南側法面にはムラサキツメクサ等もあるが広い範囲で枯れた色になっていた。このような状態はL0.0の辺りからL1.4辺りまでずっと続いている。



川中の石組みの上や周りには漂着物が数多く打ち上げられていた。この写真に写っているより大きな流木が上がっていた石組もあった。ある石組にはシギが翼を休めていた。季節が変わって飛来する鳥にも変化が出ている。



子供たちを遊ばせている姿が数多く見られた。大きな堤防法面は広々としていて今の時期、安心して過ごせる場所となっているようです。



L2.6の辺りの河川敷。きれいな紫色の大きなエリアが出現。ナヨクサフジ（弱草藤）の群生でした。淀川の河川敷、色々な物を見せてくれます。



堤防道路L4.4より河川敷に進入。入ってすぐの所にDVDプレイヤー等の投棄物有り。  
河川敷に降りたときJR神戸線の電車が通過。



今回訪問時は干潮の時間帯だったので川岸は干潟状態になっていて、カモ？やカラスがエサを探しているのか、浅瀬を歩き回っていました。ワンドの所も水が引いており流木に何やら板のような物が絡まりオブジェのようになっていました。



川岸のヨシもだいぶ伸び緑も濃くなってきており、そのヨシの中で姿は見えないがヨシキリが盛んに鳴いていました。そのワンドの横に数多くの石が積み重ねられていました。何のために積んでいるのか少々不思議でした。



河川事務所福島出張所横のこの河川敷、川岸のヨシは緑になっているが全体的には枯れた部分の多い茶色の様相でした。この辺り今回は不法投棄のゴミは少なかったように思いました。



今月のレポートは以上です。

(意見・感想・処置等)

5月のレポート提出、ありがとうございます。

平日にもかかわらず河川利用者は結構いたようですね。

草花の様子からは春というより初夏が到来したと感じさせてくれますね。

ゴミについては河川巡視を毎日のように行い対応していますが追いついていないのが現状です。

堤防上の道路の管理者（大阪市）と協力して今後も淀川の美化に努めて行きます。

またボランティアの皆さんのご努力によって美化が保たれている面もあります。あらためてお礼を申し上げます。

では熱中症に気をつけてモニター活動を続けて下さい。